

公共事業等施行状況調（令和5年2月末）

県 分

（単位：百万円、％）

工種区分	年 度	予 算 措 置 額				本工事費契約額及び契約率 (令和5年2月末)				備 考
		事 業 費		本 工 事 費		4年度 C	C/A	3年度 D	D/B	
		4年度	3年度	4年度 A	3年度 B					
1	治山・治水	31,974	26,343	22,729	17,240	15,528	68.3	14,091	81.7	
2	農林・水産	39,201	33,546	31,935	25,822	22,916	71.8	21,528	83.4	
3	道 路	70,899	59,093	48,586	38,142	31,972	65.8	34,117	89.4	
4	港湾・空港	9,155	7,164	4,748	3,453	2,756	58.0	3,237	93.7	
5	下水道・公園	9,400	9,647	2,329	2,400	1,652	70.9	2,228	92.8	
6	住 宅	1,489	2,513	1,051	2,085	922	87.7	1,288	61.8	
7	庁 舎	2,467	3,609	2,315	3,342	1,950	84.2	1,924	57.6	
8	土地造成	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
9	鉄道・軌道	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
10	学校・病院	4,047	19,169	2,780	15,607	2,301	82.8	8,248	52.8	
11	工業用水・上水道等	950	1,034	83	106	80	96.4	99	93.4	
12	災害復旧	954	1,088	809	1,072	809	100.0	946	88.2	
13	その他	7,584	9,033	4,274	6,550	3,464	81.0	5,263	80.4	
	計	178,121	172,238	121,639	115,820	84,351	69.3	92,971	80.3	

※項目ごとに端数処理をしているため計と一致しない場合がある。

公共事業等県内県外別発注実績（令和5年2月末）

（単位：社、件、百万円、％）

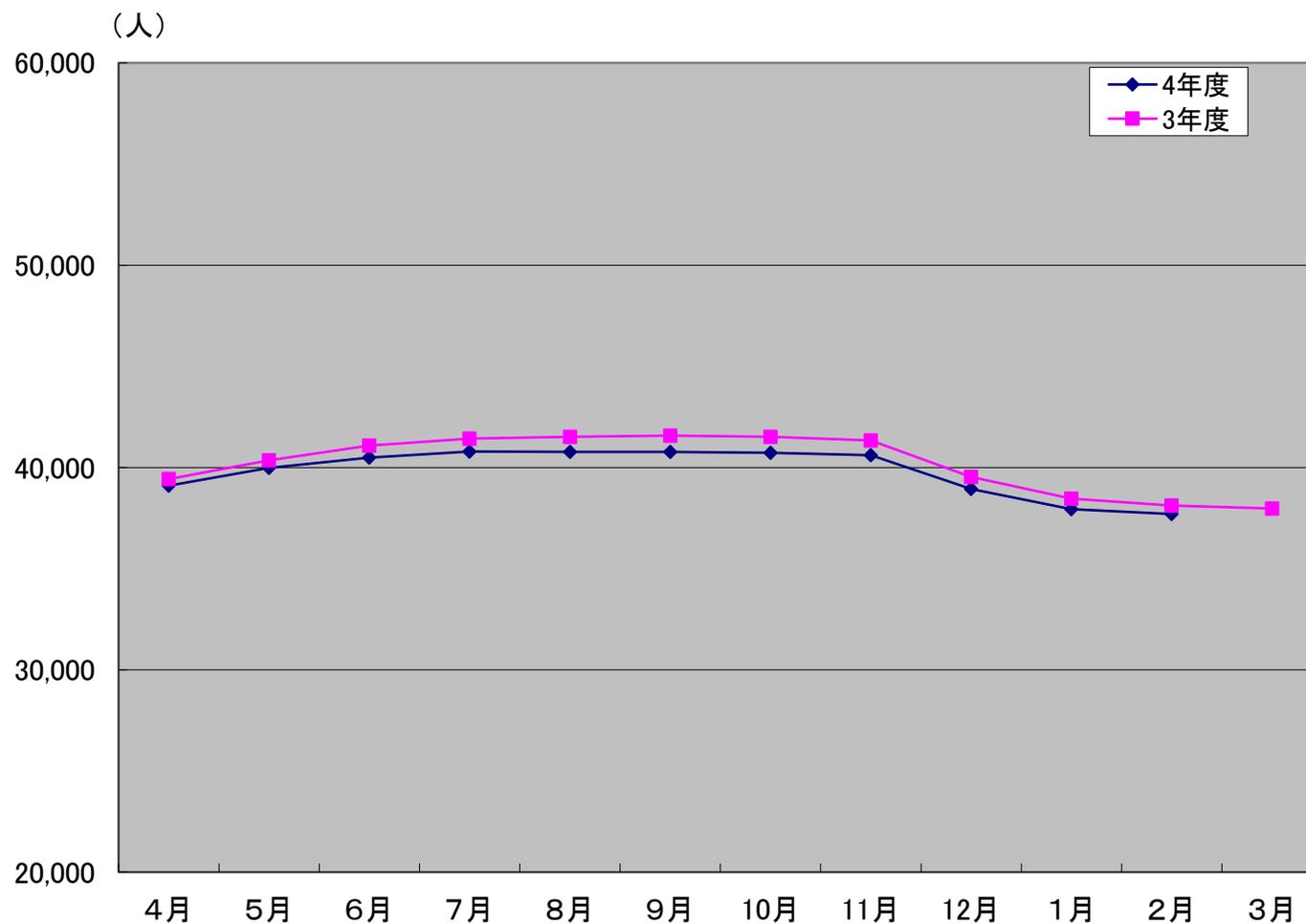
事項	予算措置額		発注実績											
	(A)		合計 (B)			県内 (C)			県外 (D)			共同企業体 (E)		
区分	事業費	本工事費	指名業者等	契約	金額	指名業者等	契約	金額	指名業者等	契約	金額	指名業者等	契約	金額
4年度	178,121	121,639	25,537	2,601	84,351	24,947	2,489	75,514	540	93	4,529	50	19	4,307
					B/A 発注率	C/B			D/B			E/B		
					69.3	97.7	95.7	89.5	2.1	3.6	5.4	0.2	0.7	5.1
前年度比	103.4	105.0	89.6	86.2	90.7	89.5	86.1	92.0	100.2	91.2	87.7	64.9	86.4	75.2
3年度	172,238	115,820	28,502	3,016	92,971	27,886	2,892	82,082	539	102	5,164	77	22	5,725
					B/A	C/B			D/B			E/B		
					80.3	97.8	95.9	88.3	1.9	3.4	5.6	0.3	0.7	6.2

被保険者数

	4年度	3年度
4月	39,104	39,424
5月	39,983	40,359
6月	40,493	41,085
7月	40,790	41,421
8月	40,778	41,521
9月	40,773	41,577
10月	40,728	41,516
11月	40,608	41,333
12月	38,934	39,528
1月	37,942	38,465
2月	37,700	38,115
3月		37,973

前月末被保険者数	37,942
資格取得者数	369
資格喪失者数	612
転入者数	16
転出者数	15
今月末被保険者数	37,700

雇用動向(建設業における雇用保険の加入動向)2月末



建設資材需給・価格動向調査結果（県内平均）

表-1 [小型棒鋼・H形鋼]

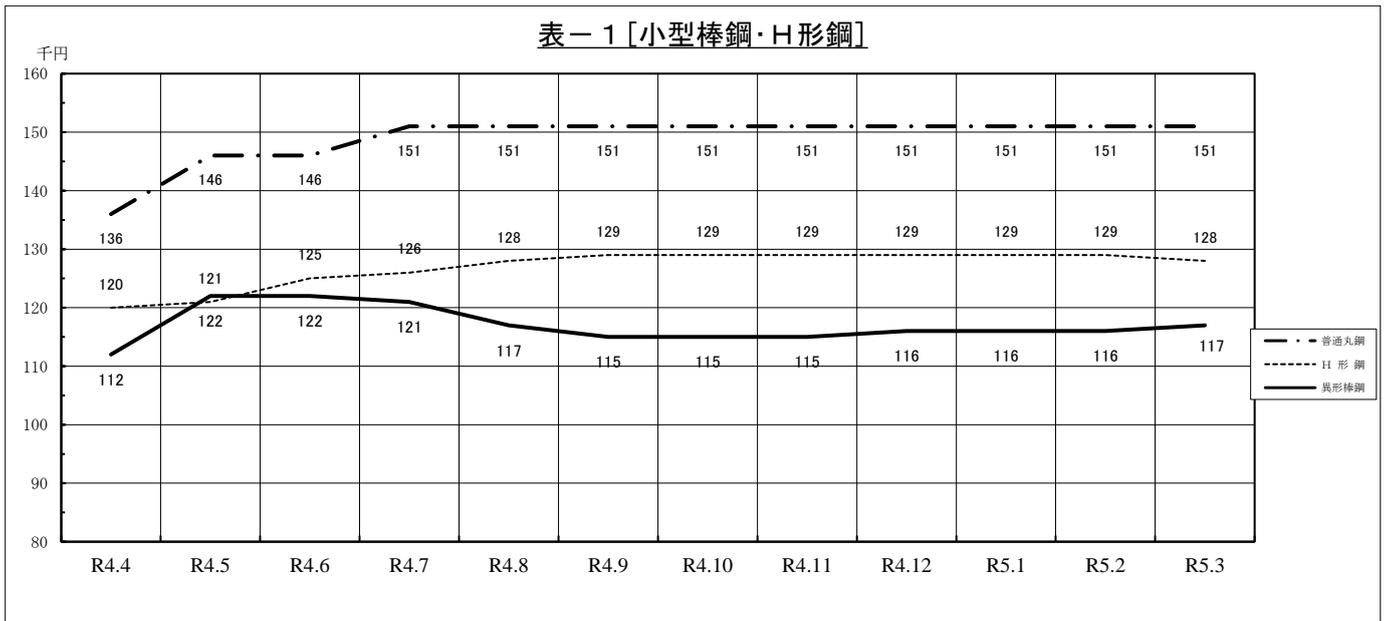


表-2 [セメント・生コン]

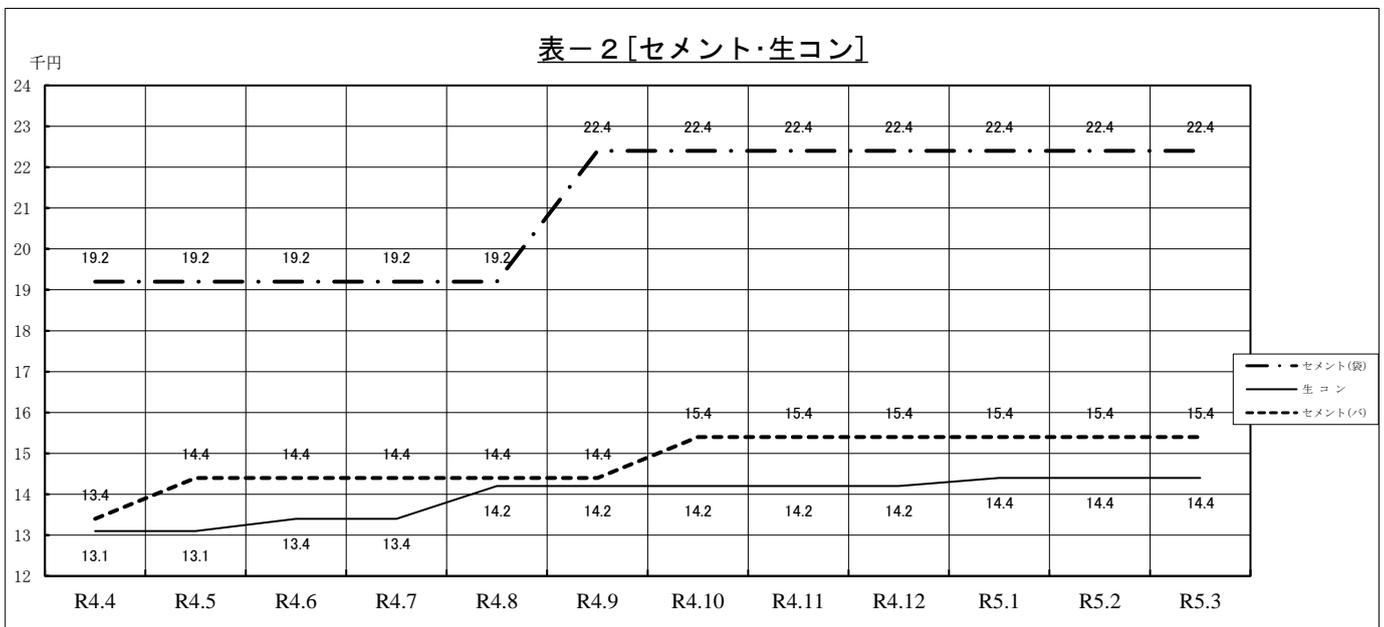
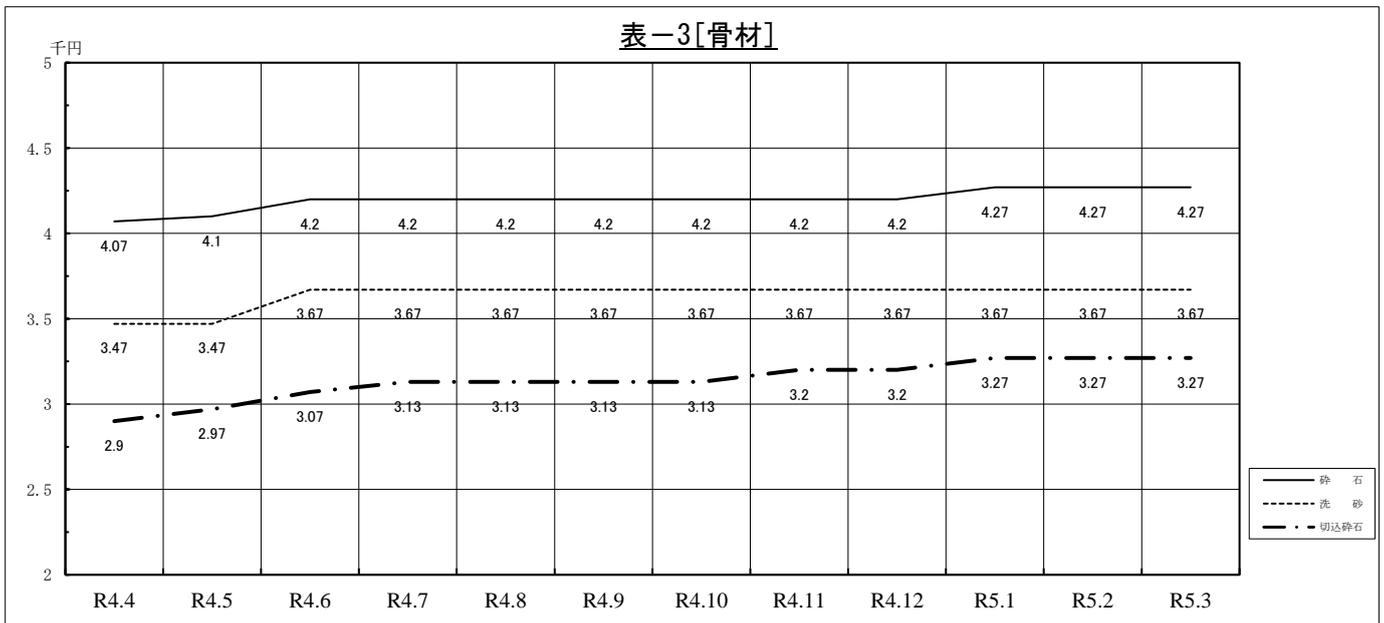
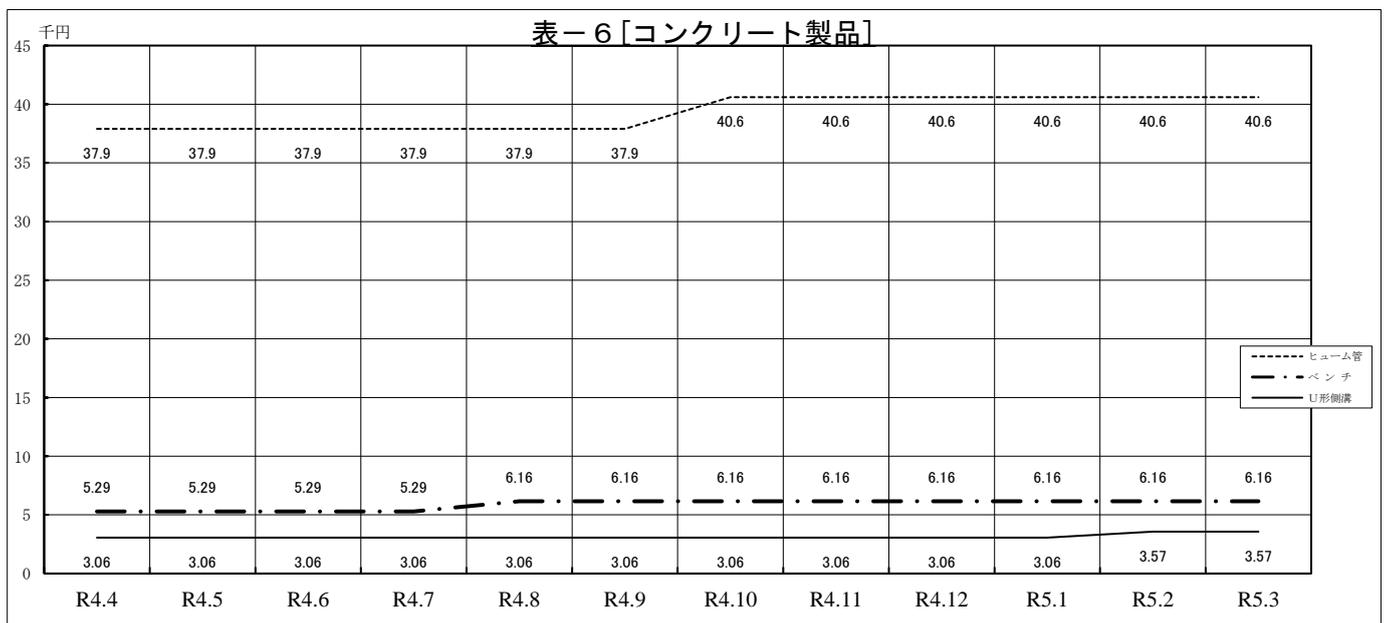
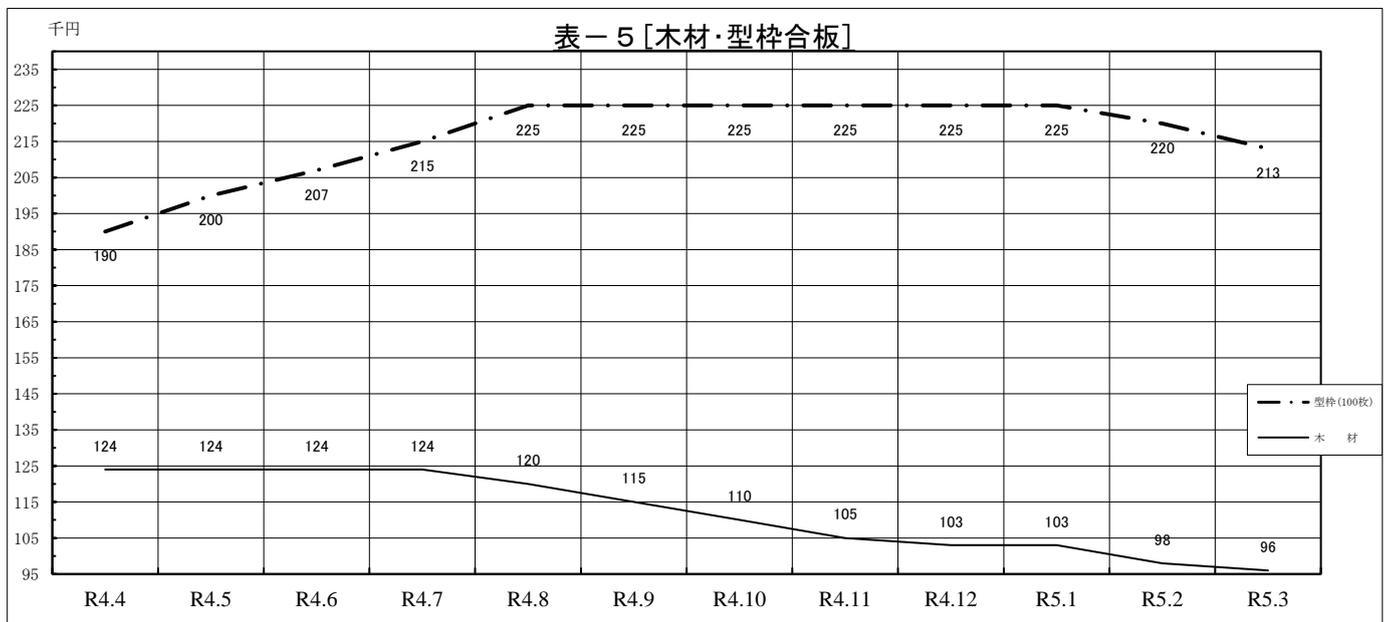
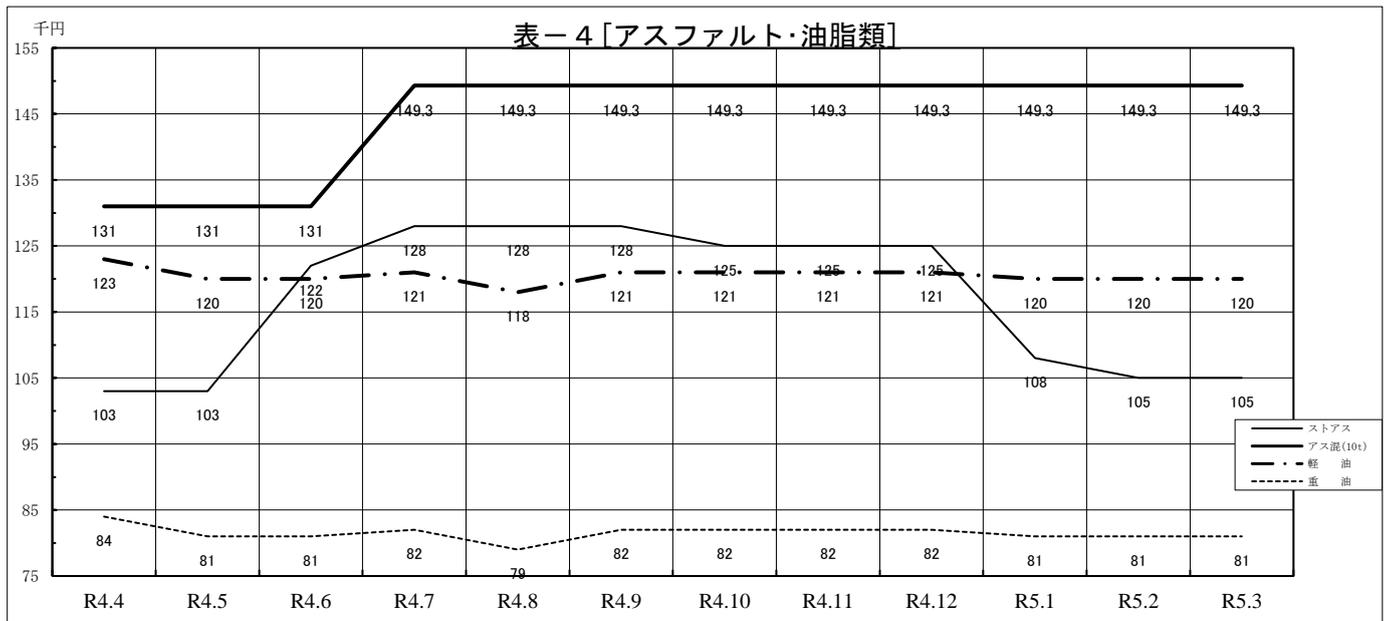


表-3 [骨材]



建設資材需給・価格動向調査結果（県内平均）



建設資材の需給・価格動向調査 (5年3月)

	需給動向									価格動向									備 考						
	青森			弘前			八戸			県平均			青森			弘前				八戸			県平均		
	緩 和	均 衡	逼 迫	上 昇	安 定	下 落	上 昇	安 定	下 落		上 昇	安 定	下 落	上 昇	安 定	下 落									
セメント		○																							普通ポルトランド(バラ)でトン当たり15,400円と前月比変わらず。1月の青森県内の販売量は1万7千トン(協会調べ)で前年同月比2.4%増。メーカー各社は主な需要家の生コンメーカーに対し、期限を定め厳しい姿勢で値上げ交渉を進めている。需要家は採算悪化を懸念し抵抗しているが、メーカーの売り腰の強さに値上げの受け入れは避けられないとの見方が広がっている。一部の需要家は値上げを受け入れるなど、交渉は大詰めを迎えている。目先、強含みの公算が大きい。
コンクリート製品		○																							道路工事向け、農業土木向けとも昨年度比で県内出荷はやや増加している。コンクリート製品メーカー各社は、製造・輸送コストの上昇を理由に値上げを打ち出し、値上げの一部は浸透したものの、満額浸透を目指し交渉を継続している。需要家は製造コストが増加している状況に理解を示しつつも、さらなる値上げの受け入れには慎重な構え。先行き、横ばいの公算大。
生コンクリート		○																							県内の2月の出荷量は2万5千m3(生コン工組調べ)で前年同月比10.4%の減。セメントや骨材などの値上げ要請があるなか、メーカー各社は、原材料および輸送コスト増加による採算悪化回避のため、値上げ額の一部が浸透した後も強気の姿勢で交渉を継続している。工事の採算確保を優先する需要家は満額の受け入れには抵抗しているが、値上げの一部について容認する姿勢を示している。値上げ幅に焦点を絞った交渉が大詰めを迎えており、目先、強含みで推移する公算が大きい。
砕 石		○																							生コン用、道路用とも出荷は低調に推移している。メーカー各社は電力料金の値上げや燃料の高止まり、運転手不足が製造・輸送コストを押し上げているとして、値上げを表明し交渉を開始している。多くの需要家は短期間で度重なる値上げに難色を示しつつも、安定調達を優先し値上げに理解を示す向きも見られはじめた。今後、両者の歩み寄りがさらに進むとみられ、目先、強含みの見通し。
小 棒		○																							SD295・D16でトン当たり117,000円と前月比1,000円の上伸。エネルギー価格の高騰による電力料金の上昇から、採算悪化に強い危機感を抱くメーカー各社は、値上げ交渉を継続。一方、需要家はさらなる製品価格の上昇には難色を示している。しかし、流通筋が採算確保に向けて売り腰を強めたことで、値上げ額の一部が浸透した。メーカーおよび流通筋は、値上げ未達分の早期浸透に向けて、引き続き強い販売姿勢を維持する構え。目先、強基調の公算が大きい。
アスファルト		○																							2月の県内出荷量は9千トン(含材協会調べ)で前年同期比8.7%の減。電力料金の値上がりなど製造コストが増加するなか、メーカー各社は、採算改善に向けて値上げ交渉を続けている。一方、需要家は、ストア価格が下落するなかでの度重なる値上げに難色を示している。両者の隔たりは大きく、交渉は平行線をたどっている。目先、横ばいの公算が大きい
木 材		○																							管柱 杉(KD)3.0m×10.5×10.5cmでm3当たり96,000円と前月比2,000円の下落。1月の県内新設住宅着工戸数は210戸で前年同月比4.0%の増加(国土交通省調べ)。ウエイの高い持家が前年同月比12.9%の減少、それに次ぐ貸家が同96.8%の増加などとなっている。建築材需要の低迷が続くなか、ウッドショックで高騰した欧州材の反落が続いているため、内地材にも影響が及んでいる。製材業者は、電気料金の負担増など生産コスト高を背景に下落を食い止めた意向だが、国産材離れを避けるべく値下げに応じている。先行き、弱含みの見通し。
油 類		○																							軽油はミノーラー渡しでリットル当たり120円、重油はローラー渡しでリットル当たり81円とともにならわらず。原油相場は中国の需要回復が期待される一方で、米国の利上げ長期化懸念により小康状態が続いている。国内は燃料油激変緩和対策により流通各社の仕入れ価格は依然として抑えられており小幅な値動き。今後も原油相場は中国の景気動向、米国の利上げ政策などに左右されるとみられるが、国内市況は補助金により安定する見込み。目先、横ばいの公算大。
型枠合板		○																							12×900×1,800mm輸入品で枚当たり2,130円と前月比70円の下落。2カ月連続の下落となった。1月の輸入合板入荷量は18.1万m3と前年同月比29.2%の減少(財務省調べ)。需要低迷が顕在化するなか、商社は現地への注文を絞っている。市中の荷余り感が解消しておらず、流通各社は決算期に向け在庫整理を目的とした値下げに動いている。需要回復の兆しが見えない状況下、軟化傾向が続くものとみられる。目先、弱基調の見通し。
形 鋼		○																							200×100でトン当たり128,000円と前月比1,000円の下落。市中荷動きに直結する地場中小建築需要が物価高騰を背景にした価格交渉の先送りから緩やかな動きである。引き合いや見積も低調。需給緩和からジリ安商況が続いている。メーカー各社は今後の電力料金の値上がりを見据え、製品価格の引き上げを示唆している。こうしたなか、流通各社はこれ以上の採算悪化を回避すべく、売り腰を再度引き締めている。目先、横ばいの見通し。

(価格動向欄の上昇・下落は、3%以上の変動とする。)

建設資材の需給・価格動向調査 (5年3月)

区 分	品 名 ・ 規 格	単 位	青 森		弘 前		八 戸		県 平 均		備 考
			価 格 (円)	前月比 (%)							
セメント	バラセメント(普通ポルトランド)	t	15,400	0.0	15,400	0.0	15,400	0.0	15,400	0.0	
セメント	袋物セメント(普通ポルトランド)25kg入	袋	560	0.0	560	0.0	560	0.0	560	0.0	22,400円/t
コンクリート製品	U形側溝300B L=1m	本	3,570	0.0	3,570	0.0	3,570	0.0	3,570	0.0	
コンクリート製品	ベンチフリューム400型 L=2m	本	6,160	0.0	6,160	0.0	6,160	0.0	6,160	0.0	
コンクリート製品	ヒューム管B型 φ600 2.43m	本	40,600	0.0	40,600	0.0	40,600	0.0	40,600	0.0	外圧管1種
生コンクリート	18-8-40	m3	13,600	0.0	13,600	0.0	16,000	0.0	14,400	0.0	
砕石等	洗砂	m3	3,300	0.0	3,200	0.0	4,500	0.0	3,667	0.0	
砕石等	コンクリート用砕石 25~5mm	m3	4,000	0.0	4,100	0.0	4,700	0.0	4,267	0.0	
砕石等	切込砕石 40~0mm	m3	3,100	0.0	3,200	0.0	3,500	0.0	3,267	0.0	
小形棒鋼	普通丸鋼SR235 φ13mm	t	151,000	0.0	151,000	0.0	151,000	0.0	151,000	0.0	
小形棒鋼	異形棒鋼SD295A D16~25mm	t	117,000	0.9	117,000	0.9	117,000	0.9	117,000	0.9	
アスファルト	ストレートアスファルト 針入度60~100	t	105,000	0.0	105,000	0.0	105,000	0.0	105,000	0.0	60~80
アスファルト	アスファルト混合物 密粒度13	t	15,100	0.0	15,400	0.0	14,300	0.0	14,933	0.0	149,330円/10t
木 材	管柱 杉(KD) 長3m×厚10.5cm×幅10.5cm	m3	96,000	-2.0	96,000	-2.0	96,000	-2.0	96,000	-2.0	
油 類	軽油(ミニローリー渡し)	L	120.0	0.0	120.0	0.0	120.0	0.0	120.0	0.0	120,000円/kl
油 類	重油(ローリー渡し)	L	81.0	0.0	81.0	0.0	81.0	0.0	81.0	0.0	81,000円/kl
型枠合板	12×900×1800mm	枚	2,130	-3.2	2,130	-3.2	2,130	-3.2	2,130	-3.2	
H形鋼	SS400 200×100×5.5×8mm	t	128,000	-0.8	128,000	-0.8	128,000	-0.8	128,000	-0.8	